

令和5年度 徳島市立高等学校 第2回学校運営協議会 協議等の概要

1 日 時 令和6年2月19日（月）午後3時10分から午後5時00分まで

2 場 所 徳島市立高等学校 第1会議室

3 協 議

(1) 本校の現状について

中田教諭が「生徒授業自己評価アンケート」についての説明を行った後、多田教頭が「令和5年度学校評価総括評価表」を用い、市高の教育活動の概要を説明した。

(2) 次年度以降の学校運営について

本校校長の米延賢治副会長が、次年度以降の学校運営について説明した。

4 委員からの意見・提言等

【学校評価アンケートについて】

- * 教科によって予習を求められるものもあれば、復習を主としているものもあり、家庭学習において、それらの時間が課題であることが分かった。しかし、今の生徒は多忙であり、そのパーセンテージをぐんと上げるのは難しく感じる。
- * 市高レインボウプランと理数科セミナーは、昔と比べて変化してきている。各学年が取り組んでいる内容について、現在の状況に合わせてアップデートしている状況がわかった。

【学校評価総括評価表について】

1 学校運営体制の充実

- * 本校の三本柱について、保護者・生徒と教員との温度差が気になる。
- * 音楽を熱心に取り組んでいる生徒等は盛んな学校に流れているが、OBの協力などもあるので、文化・芸術面でもさらに発展して欲しい。

2 人権教育の推進

- * 人権HRの回数は5回位が日程的に良いのではないか。

3 学習指導の充実

- * 図書館貸出冊数の目標指数はかなり高いのではないか。
- * 致し方ないが、英会話の回数、年7回は十分な指導という点では難しい。

4 進路指導の充実

- * 難関大学の定義は難しいが、合格30人という数値が、全体的な学力向上のモチベーションを高める一つの目標となる。またそれを目指すことによって学校力・教育力を含めた学校の魅力につながる。

5 生徒指導の充実

- * 遅刻防止のために、生徒自身による遅刻防止の啓発に取り組んではどうか。

6 特別活動の活性化

*部活動の活躍は大変すばらしい。また施設も充実している。そのような市高の魅力をプロジェクトチームを作って、生徒主体で、SNS等を効果的に活用して広報すべきである。

7 安全教育と環境教育の推進

*南海トラフによる地震が身近に迫っており、防災意識を上げる刷り込みが必要である。

8 グローバル化に対応した教育の推進

*現在、留学生がいないようなので、申し入れがあれば積極的に受け入れる。

9 特色ある学校づくりの推進

*PTA総会などの集会をオンラインで参加できるようにしてはどうか。

*DVDなどの制作等の広報活動は生徒主体で行えば良い。大会などの撮影に行くには移動手段があるので、顧問等の担当者は必要である点は課題である。

10 情報教育の推進

*予想外のトラブルで機器の不良等がある中、適切に対処している。

【次年度以降の学校運営について】

*教員の負担軽減について、賛否両論あると思うが、しっかりとした企業等は実践して良い業績を上げているので、思い切って推進に取り組むことは素晴らしいのではないかと。